

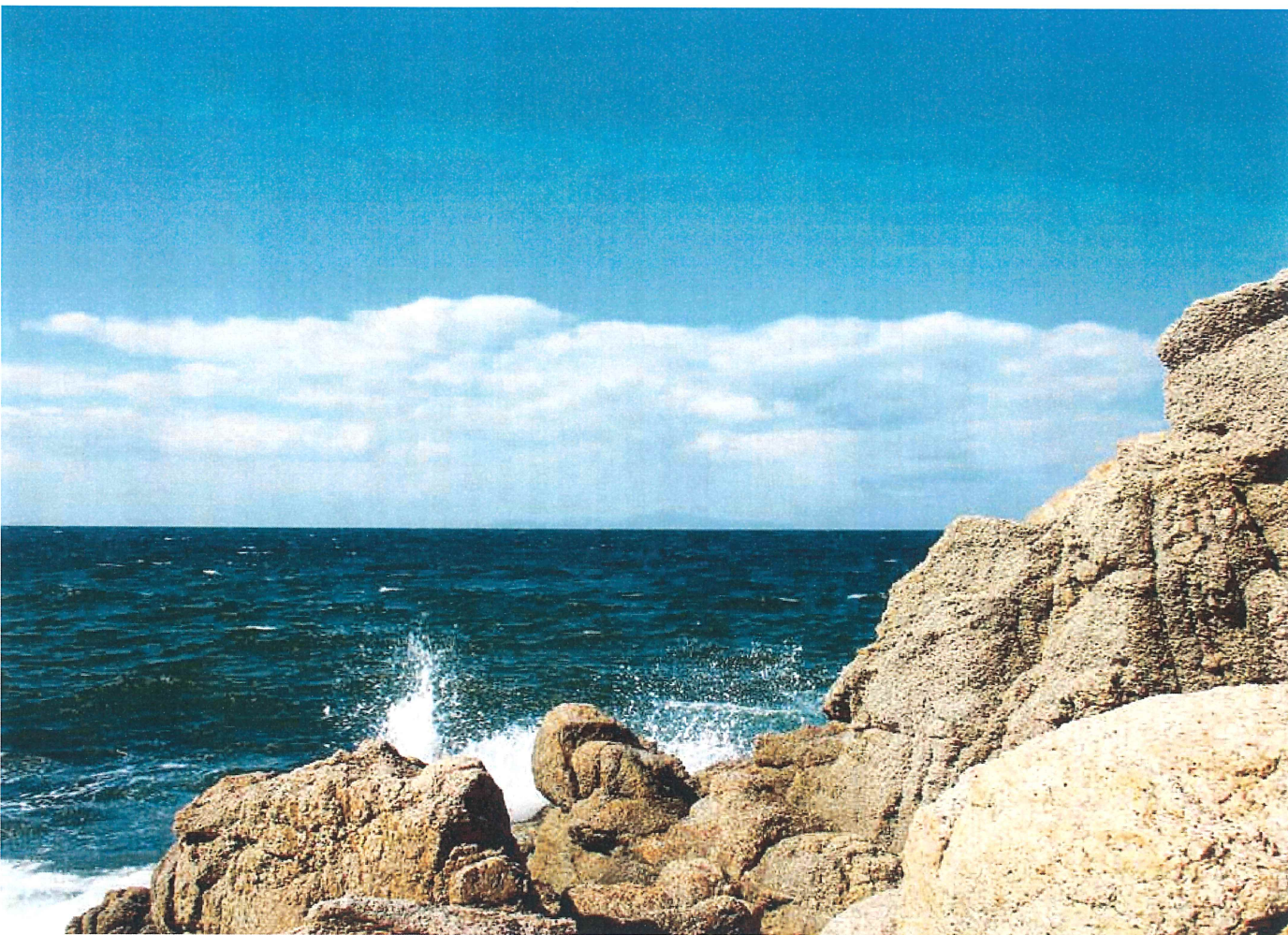
淡路宗務支所報「海響」
 [第23号]
 令和5年(2023)3月15日
 題字・弘法大師筆

発行所 高野山真言宗淡路宗務支所
 支所長 鈴木 暲 導
 兵庫県洲本市五色町都志1344
 多聞寺中 TEL0799(33)0736

海響

お大師さまのことば
 吾れ昔 生を得て父母の家
 在りし時 生年五六の間
 夢に常に八葉蓮華の中に
 居坐して諸仏と共に
 語ると見え(御遺告)

【秘蔵宝鑑】
 私空海は父母の生家にいる
 五六歳のころ、いつも夢で八
 葉の蓮華に坐って仏と語って
 いる姿を見ていた



第七回 御詠歌・舞踊の発表会

淡路島奉詠舞大会
 開催される

第七回淡路島奉詠舞大会を令和四年十月三十一日、一宮ふるさとセンターで開催しました。新型コロナウイルスの影響により前大会は中止、令和四年は当初九月の予定が再びコロナ禍で延期となり、感染予防対策を講じて二年ぶりの大会開催となりました。

久しぶりの大会に詠舞会を志す同心同行の輪が会場に溢り、盛会のうちには終了いたしました。本年は宗祖弘法大師御誕生二二五〇年記念大会

が高野山で行われます。お大師さまの御誕生を祝い報恩謝徳の思いを捧げて、宗祖弘法大師御誕生大法会を迎えましょう。 稽手礼拝



華道高野山

生ける人の心が
 花の表情です

お問い合わせ
 淡路寺族婦人会
 洲本市五色町都志四八 浄土内
 TEL0799(33)0388

編集後記

まだまだコロナ禍であり、感染予防対策をとったうえではありますが、少しずつ様々な行事が開催されるようになってきました。

本年はお大師さま御誕生二二五〇年という記念すべき年となります。今号にも掲載されておりますように、昨年はお待ち受け大会が淡路島で行われ盛り上がりを見せました。その勢いそのままに、本年は高野山に於いても様々な法要が予定されています。つきましては、各旦那様よりご案内をしていただけるかと思っております。是非ご参加ください。皆様と共に、お大師さまへ感謝を届けましょう。 合掌

参加会だより

令和四年度 兵庫プロック 振興・参与・檀信 徒研修会が三年ぶりの開催となりました。播磨宗務支所の担当で、二月九日・十日の両日、ホテルモントレ姫路を会場に県内各地より二〇〇名余りが参加しました。

初日は、高野山金剛峯寺 教学部長 国際局長 桐生俊雅僧正先導により トルコ・シリア国境での大地震による物故者追悼及び早期復興を祈念しての黙禱の後、「出逢いの中に法あり」と題した法話をいただきました。

続いて、種智院大学客員教授でもあられるフリーアナウンサーの 原平正さんに、「生きてるだけで丸もうけ！命の尊さ 思いやり心」と題して「笑いと健康」と題しての講演をいただきました。

二日目は、大道芸人 たつきゆうさんによる「楽しい大道芸と健康について」の講演をいただきました。研修の締めは、桂弥吉氏による「桃太郎」を、桂吉弥師匠は「ないしょ話」といって楽しくも心温まる人権落語をしていただきました。笑顔のなかにも檀信徒の皆さまと二日間の有意義な研修会を終えました。

令和五年度は但馬支所担当で本年十一月開催予定となっております。

入会について

参与会入会ご希望の方は、御縁の御寺院さまにお申し出ください。会員になられますと高野山真言宗管長(参与会総裁)より委嘱状をお届けし、参与契紙と参与バッジが授与されます。

【会員特典】
 ・高野山諸堂・霊宝館 内拝無料
 ・金剛峯寺参拝時 記念品贈呈
 ・毎月機関紙「月刊高野山」高野山真言宗発行のパンフレットがその都度届きます。

【会費】年会費 正会員一万円 家族会員五千円(正会員の家族の方で同居されている方が対象となります。)
 ※この年会費はお大師さまのみ教えを一人でも多くの人に知っていただくための広報活動などに役立てられています。

Instagram: インスタ
 ホームページ: ホームページ

御写経のすすめ

一日のひと時、御写経をしてみたいか、御写経を無心で御写経をする時間を持てたいか、「心の充実」を活かして、より良い明日を迎えましょう。

【御写経納券数】
 本山総計(累計) 二、七三〇、五二九巻
 淡路宗務支所(累計) 五二、三六二巻

【御写経納券】
 本山総計(累計) 一、一五二、二六三、二六四円
 淡路宗務支所(累計) 二九、二七三、三四八円

令和四年度 淡路宗務支所小史

敬称略

支所下寺院の慶事を報告申し上げます。
 心よりお祝い申し上げます。

【天僧正昇補】
 神代 神代寺 瀬尾 弘澄
 令和四年十月七日

哀悼

広石 堺寺住職 黄谷 義弘
 令和四年 八月 三日 遷化

湊 智積寺前住職 寺内 宥芳
 令和四年十月二十三日 遷化

新住職

飯屋 勝福寺・正 幡井 一憲
 令和四年 三月 十四日

都志 普門寺・兼 鈴木 暲 導
 令和四年 四月 一日

広石 持明寺・正 樹下 真快
 令和四年 四月二十一日

広石 堺寺・正 萬谷 信朝
 令和四年十月 八日

佐野 薬師寺・兼 岩坪 泰圓
 令和五年 二月 六日

※正正住職 兼 兼務住職
 檀信徒協議会理事

参与会淡路選出評議員

一教区	清水 邦樹
二教区	寺西 一夫
三教区	森 衣代
四教区	橋詰 計介
五教区	山崎 恭路
六教区	池尻 明人
七教区	坂本 静利
八教区	松本 啓一
八教区	谷口 啓一
八教区	榎本 晃明
八教区	數田 直愨

高野山真言宗淡路宗務支所

洲本市五色町都志一三四四
 TEL0799(33)0736
 FAX0799(33)1429

事務取扱所(庶務課)

洲本市五色町原下六九三二 西泉寺中
 TEL0799(33)0693
 FAX0799(33)1700

高野山真言宗青年教師会

理事 堀部 泰博

代議員会

議長	八教区 瀬尾 弘澄
副議長	一教区 若林 義導
	三教区 岩坪 泰圓
	四教区 佐竹 真康
	六教区 河野 泰真
	七教区 林山 伸樹
	八教区 高見 哲寛

書記

	山本 大雲
	金銅 真宏

自治布教団団長

	笹津 寛照
	長谷川 惇也
	樹下 真快
	本間 敬英
	岡崎 哲秀
	長尾 泰道
	和田 隆子

総務

総務	本間 敬英
庶務	森 大誠
会計	岡崎 哲秀
青年教師会会長	長尾 泰道
寺族婦人会会長	和田 隆子

空と海

「名は体を表す」とは、物や人に付けられた名前が、そのものの性質や実体的確に表すことをいい、名付けた人物の願いなどが込められている。

お大師さまこと弘法大師空海の幼名は真魚(まほ)といい、修行時代は「無空」と名乗り、出家されたからの名は初めは「教海」とし、改めて「如空」とし、最後に「空海」と定められた。これは自身で選んだ名であるが、「空」といい「海」といい、どちらにも、お大師さまの好みが現れていると思われる。

どちらも果てしない広い世界であり、捉えどころが無く見えるが、その中には無限ともいえる多くのものが含まれている。近代文明が進んで人間の活動が広くなり、地球の大きさに収まりきれなく、「空」と「海」の世界を小さく感じる方もいるが、実はこの中に含まれていないものはなく、人によって広くも狭くもなる不思議なものであるが、お大師さまの性格をこれ以上に表現することができない。また、お大師さま自身が無意識のうちに名前の表す本質に近づいたのかも知れない。とにかく、名と共にスケールが大きくなっていく世界観とその決心には驚かされる。

「空」には、お大師さまの宗教者、哲学者、芸術家、教育者、だけに止まらず、産業、政治にも活躍なされた活動領域の広さに通じる。しかも、どの場合にも比較することの出来ない、後世にも残る業績を挙げられておられる。

「海」には、微生物から大型の魚類やクジラと膨大な種類・数の生物が棲息して、すべての生命のふるさとでもある。水循環により、人類を含めた陸上の生き物を支える役割も果たしている。また、広大な海にはあらゆるものが流れてくるが、海は全てを浄化する力がある。

なお、「弘法大師」は御入定後に朝廷から贈られた尊号である。「大師」というのは本来は仏陀に対する尊称であったが、中国や日本では朝廷から贈られる称号となった。この称号を受けた高僧の数は少ないが、「お大師さま」といえるのは誰でも弘法大師のことこそいふべきである。

この「お大師さま」「弘法さま」という名は、民衆の間でよく知られており、親しまれている。お大師さまが誕生された四国地方や、さかんに活動された近畿地方はいうまでもなく、遠く関東や東北地方にもゆかりの場所が数多く知られている。その広さ、高さ、深さにおいて日本の歴史を通じても比較する人物は見当たらない。まさに「空」と「海」だ！

とにかく、これほど人気のある名はきわめて稀である。さて本年は、弘法大師誕生二二五〇年となります。この奇縁に有難く感謝いたし、より一層、お大師さまの残された言葉と風景に想いを廻らし、過去と複雑化される現在を融合させ、未来に向かう我々に、多くのアドバイスを与えて下さる事を願ひ上げ、祈願する次第であります。

南無大師遍照金剛 合掌

櫻列 威光寺 住職 林山 伸樹

高野山真言宗 特別伝道・淡路宗務支所 真言教学講習会

高祖弘法大師御誕生二二五〇年 お待ち受け祈念大会

いのちよ輝け大師のみこころと共に

去る令和四年十月十九日(水)兵庫県淡路夢舞台国際会議場に於いて、「高野山真言宗 兵庫ブロック 特別伝道・淡路宗務支所 真言教



学講習会 高祖弘法大師御誕生二二五〇年お待ち受け祈念大会のちよ輝け大師のみこころと共に



高野山真言宗管長・総本山金剛峯寺座主 葛西義親下を御導師様にお迎えした法要で幕をあげました。葛西親下は「令和五年に行われ



日々を過ごせませす事ご祈念申し上げます。と述べられました。続いて、高野山真言宗教学部長 桐生俊雅僧正に「出逢いの中に法(おしえ)あり」と題されたお話を賜りました。

仏さまのおはなし

秋 迦 如 来

池ノ内 地藏寺 住職 大木裕文



「お釈迦さま」何と親しみのあるお名前でしょう。しかしながらお釈迦さまという名前は実は本名ではありません。

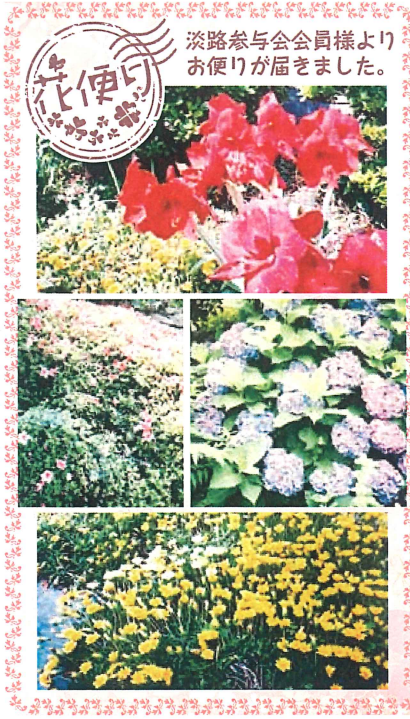
体育教師でした。奥様も高校の先輩でお二人には随分お世話になりました。

淡路巡遷妙音弁財天様の安座を終えて

第一教区 住職 石田 生福寺 若林 義導

令和三年十月七日八浄寺に於いて弁財天秋季祭御託宣の儀で、弁財天様の姿をしたクイー、弁財天様が(次期安座教区に第一教区が選ばれた)と弁

私には十年前程に弁財天係庶務を三年務めておりまして、少しはお祀りに関しては解っているつもりでしたが、いざ迎える事になると、わか



いける喜びを生きる力に変えて、笑顔と感謝を忘れずに一日一日を大切に生きていきましょ

Table with 4 columns: Season (Spring, Summer, Autumn, Winter), Date, Time, and Location. It lists the schedule for the 'Four Seasons Collection' of hymns.

Table with 4 columns: Date, Region, and Location. It lists the 'Itinerant Hymn Schedule' for the five-year period.

Advertisement for 'Mandala of the Sea' (曼荼羅華の里) featuring a photo of a traditional building and text about the festival.

Advertisement for 'True Words Collection' (真言法話の集い) featuring a QR code and a list of dates and topics for the lectures.